

令和元年度第2回小牧市青年の家運営委員会 議事要旨

【日 時】 令和2年2月12日（水）午前10時～午前11時

【会 場】 小牧市青年の家 講義室

【出席者】 東岡委員、増田委員、橋本委員、渡邊委員、林委員、船橋委員

【欠席者】 佐藤委員

【傍聴者】 なし

【事務局】 鍛冶屋こども未来部長、櫻井こども未来部次長、永井課長、
小林係長、濱島

（こまき市民文化財団）原田マネージャ、川中主査

【議 題】（1）令和元年度小牧市青年の家利用状況経過報告について

（2）令和元年度小牧市青年の家事業経過報告について

（3）令和2年度小牧市青年の家事業計画（案）について

【会議内容】

鍛冶屋こども未来部長あいさつ

林委員長あいさつ

2 議題

（1）令和元年度小牧市青年の家利用状況経過報告について

（事務局）

資料1-1、1-2に基づき説明。

以下のとおり、質疑応答・意見があった。

（船橋委員）

利用件数・人数の減少理由として、ボーイスカウトの名古屋の団が利用や安全講習会の開催がなかったとあったが、2年連続で同一施設を利用することはない。他の団にも青年の家をPRしてみる。

（増田委員）

年々利用件数が減少しているのは、青年の家が今の子ども達にあまり認知されていないからだと思う。子ども達に何か発信をして知ってもらえるとよい。おもしろい催しがあるといいのではないか。

（林委員長）

昨年比でなく5年前などと比較しても利用者は減少しているのか。

(事務局)

大人数での研修・宿泊が減少しているので、利用者数も減少している。

(林委員長)

色々な方法で青年の家の PR を行って行ってほしい。

(2) 令和元年度小牧市青年の家事業経過報告について

(事務局)

資料 2 に基づき説明。

以下のとおり、質疑応答・意見があった。

(橋本委員)

青年の家利用者が高齢化しており、坂が閉鎖して車で来場できず不便になったとの声をきく。今後どのように対応していくのか。

(事務局)

青年の家開所以降、小牧市内では市民センターや地区の集会所など、他の施設が建設され市全体としては利便性が高まり、青年の家の利用は減少したと思う。今後は他施設にはない青年の家の魅力である「小牧山の自然」を PR し、差別化を図っていきたい。

(船橋委員)

市民まつりの実績に折り紙教室があるが、同日に開催しているボーイスカウトの焼杉体験も実績に記載してはどうか。また、市民祭りのポイントラリーの位置を青年の家前に設置すると来場者も増えると思うので、市民祭り事務局と調整してほしい。

(東岡委員)

学習室の開放にきたのはどのような方で何をやっているのか。

(事務局)

中高生が勉強する場の提供となっている。

(林委員長)

小牧山のような自然環境が身近にある施設は他市町村にもあまりないと聞く。この環境をうまく利用した施設運営をしてほしい。

(3) 令和2年度小牧市青年の家事業計画(案)について

(事務局)

資料3に基づいて説明。

以下のとおり、質疑応答があった。

(橋本委員)

青年の家こどもフェスタの運営に、ボーイスカウトと青年の家中高生サークルが協力するという形はどうか。

(船橋委員)

11月のイベントだと夏頃に委員会を立ち上げて準備をしていくことになるが、そこに中高生サークルの方も加わっていただくことは可能である。

(事務局)

こどもフェスタについては、ボーイスカウトにすでに協力をお願いしている。中高生サークルにも協力をお願いしたい。

(船橋委員)

より多くの方に運営携わっていただき、小牧山を広く使って運営ができるとうい。

(東岡委員)

寺子屋に関して、ココボラがサポートとなっているが、子どもの人数が減っているので人を集めるのは今後益々難しくなると予想される。講師が運営する講座を開くのもよいが、子どもを講師としてみるのもおもしろいと思う。講座の受講生が次に講師となって講座を開くようになれば、持続可能な講座の開催が可能になると思う。

(船橋委員)

小牧南小学校でパパクラブが中心となり夏休みの土日に学校でキャンプファイヤーや飯ごう炊飯をしたりテントで寝たりして一泊するイベントを手伝ったことがある。話があればいろいろな方の協力を仰ぎ、イベントを開くこともできると思う。

(東岡委員)

中学生の部活動も土日両方の実施はできなくなってきており、土日のうち片方は中学生も空いていることになる。そういった小中学生をうまく活用するとよい。

(増田委員)

ココボラの子は児童館でボランティアをしているが、いろいろな児童館の子ども達を集め、青年の家で交流できるようなイベントを開催するとおもしろいと思う。ジュニア奉仕団への提案を2～3月にすれば、次年度とりいれてもらえると思うので、ぜひ検討してほしい。

(東岡委員)

ジュニア奉仕団に協力をしてもらうなら、企画段階からジュニア奉仕団に関わってもらうようにすると子どものやる気がでてよい。

(渡邊委員)

青年会議所代表としてこの委員会に参加しているが、年毎に青年会議所もメンバーが変わるので、毎年PRしてもらおうと青年会議所からの利用につながると思う。また、自分で寺子屋を開催した経験から、親世代に青年の家の良さを知ってもらえば子どもを送りだしてくれるので、親への周知も大切だと思う。青年の家の良さや改善点をあぶりだし、一度見直すとよい事業展開ができるのではないか。

(船橋委員)

ボーイスカウトの大会で青年の家の紹介をしたい。施設案内・利用料金・どんなことができるのかという内容を記載したパンフレットを作ってもらいたい。

(林委員長)

学習室が利用可能な日程は、当日に青年の家までこないとわからないのか。

(事務局)

ホームページでも状況を公開している。利用不可能な日はほとんどないので、当日来て確認する人が多い。

3 その他
特になし。